

福島今町駅

昭和22年に
国鉄に採用されてから
約20年間、福島今町駅
（現在の駅務掛）を務める。
昭和59年、
志布志駅助役を
最後に退職。

福島地区・西今町在住
河野正名さん（83歳）



れあい』でした。河野さんの採用当時は食糧難の時代。今町浜で取れる塩や魚を都城や岩川へ売りに行く人が多かったそうです。「商売が上手くいったときなんかは、ものすごく良い顔で帰ってこられるんですよ。こっちまでうれしい気持ちになりましたね」と当時を振り返ります。

大事な職場

河野さんにとって、常に身近な存在だった列車と駅。「たくさんの人生勉強をさせていただきました。先輩はもてるん、お客さまから学んだことは数知れません。とても大事な職場でした。採用から約20年務めた『福島今町駅』。「やっぱりこの駅に愛着があります。駅のことがかわいもんな」と少し照れくさそうに話します。今も福島今町駅そばの自宅から、駅と列車の姿を見守っています。

子どもの頃から電車好き

福島小学校教諭
渡木康文さん
毎日学校に行くまで電車を見ているような子どもでした。駅では、皆さんにかわいがってもらって。帽子をいただいて『駅長』っていうニックネームまで付けてもらいました（笑）。



串間市内のスポット

串間市内の駅舎には珍しいものが多いんですよ。福島今町駅や日向大東駅は、鉄筋化されています。また福島高松駅は『秘境駅』として知られていて、わざわざ訪れるマニアの方もいらっしやいます。また、善田川にかかる鉄橋は撮影スポットにもなっていますよ。

残してほしい路線

私が一番好きな瞬間があります。電車の汽笛がまちが目覚めていく光景。なくしてはならないものが、そこにはあると思います。日南線は、絶対に残してほしい路線の一つです。

過去から 未来へ

50th anniversary

つながる 日南線



昭和43年 串間駅に到着したお召し列車
（赤い旗で列車を止めているのが河野さん）

平成21年より
運行し、
人気を博している
観光特急
『海幸山幸』の
仕掛け人。

九州旅客鉄道株式会社
宮崎総合鉄道事業部長
川原淳一さん



日南線の思い出
入社当初、日南線に乗り込んでいました。車窓からの景色は30数年前とほとんど変わっていません。やはり思い入れのある路線ですね。串間には都城からのお客さまが多かった記憶があります。高松海水浴場や都井岬に行かれる方がたくさんいらっしやいました。

ニーズを守る

少子化や自動車社会の進展で、鉄道利用者は年々減少している現状にあります。しかし、地域の皆さんにとって生活路線として欠かせない存在です。通勤、通学、通院などで利用されるお

客さま。そういった『鉄道が頼り』という方々のニーズを守ることが、公共交通機関である鉄道の使命であると考えています。

広域的な観光ルート
串間市に限らず、どの地域も人口減少に悩まされているのが現状です。観光をはじめとする交流人口を増やすことが課題です。その際の『入口』は多いほうが良い。今後は、鉄道利用はもろろん、バスやレンタカーなどと組み合わせる企画など、広域的な観光ルートの模索が求められています。

地域とともに
当然ですが、沿線地域に活気がなければ乗客も増えません。地域が元気でなければ、私たちも元気でないんです。当社としても、まちおこしや沿線の開発、観光の活性化には積極的に協力していきたいと考えています。

みんなで仲良く 電車通学しています

福島高校の皆さん

油津、南郷から福島高校に通っています。通学時間は約40分。友だちと話したり音楽を聴いたり、時間を有効活用できるのが電車通学の良いところ。自分の家みたいにくつろげて、すぐ寝てしまうこともあります（笑）。学校の始まる時間に合った便が、もつとたくさんあると良いなと思います。

